

# WebSWMSYS 分かっているけど間違えやすいこと

## 選手登録

### ※スイミングにしている生徒は同一人物として登録する。

- ・スイミングに所属して、すでに WebSWMSYS に登録されている生徒は、登録の際にその生徒が持っている7桁の選手番号を確認して入力・検索して下さい。  
名前等とともに「この競技者は既に登録済みです・・・」と表示されます。  
スイミングにはいるという意味です。下のボタンを押して下さい。  
(スイミングに行っていない、コースによっては選手登録していない生徒もいます)

### ※卒業した生徒は削除する。

- ・卒業した生徒も含めてまとめて選手登録の更新をすると、「中学校」に所属した「高校生」して登録されてしまいます。進学した高校で登録ができないということが、おこっているようです。できれば卒業前後の旧年度のうちに削除して下さい。  
遅くとも新年度の選手登録や更新の前に卒業生は削除して下さい。  
中学校から削除しても、サーバーにデータは残るので記録は受け継がれます。

## 大会申込

### ※更新登録手続きと大会エントリーは別

- ・新年度に行う団体や選手の更新手続・登録手続と、それぞれの大会参加エントリーは別の手続です。慣れない顧問の先生は、更新手続しかしない場合がありますが、大会エントリーをしてどの選手がどの種目に何秒でエントリーするかを入力して下さい。  
それをしないとその選手の情報は、大会には全く取り込まれず参加できません。

### ※リレーの補員もエントリーする。

- ・個人種目で出場しないリレーのみに出場する選手、リレーの補員として考えている選手も個人のエントリーを開いて、「リレー」の項目にチェックを入れてください。  
それをしないとその選手の情報は、大会には全く取り込まれず参加できません。

### ※県総体、県新人大会は地区大会の記録でエントリーする。

- ・県総体、県新人大会のエントリータイムは、各地区で行われた郡市大会の記録でエントリーして下さい。ベストタイム等でエントリーしてくる場合がありますが、プロ編会議で確認して修正していただきます。
- ・春季選抜大会は、出場標準記録を厳守してエントリーして下さい。

### ※種目、記録の入力は印刷後に確認を

- ・エントリー内容は、そのまま大会プログラムに反映されます。提出書類を作成したら、再度、参加者・種目・距離・記録を確認して下さい。
- ・なれない方は「33 秒 00」を「33 分 00 秒」や「0. 33 秒」などと入力する場合があります。書類作成後確認して下さい。

(以上の点、その他で不明なことは地区の運営委員に問い合わせてください)